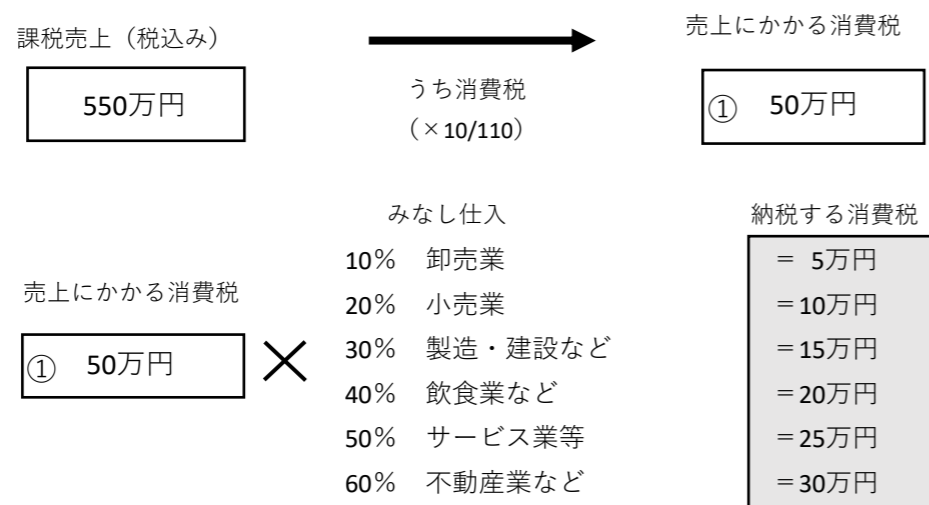


大阪・大正民商作成「消費税負担額・簡易計算シート」

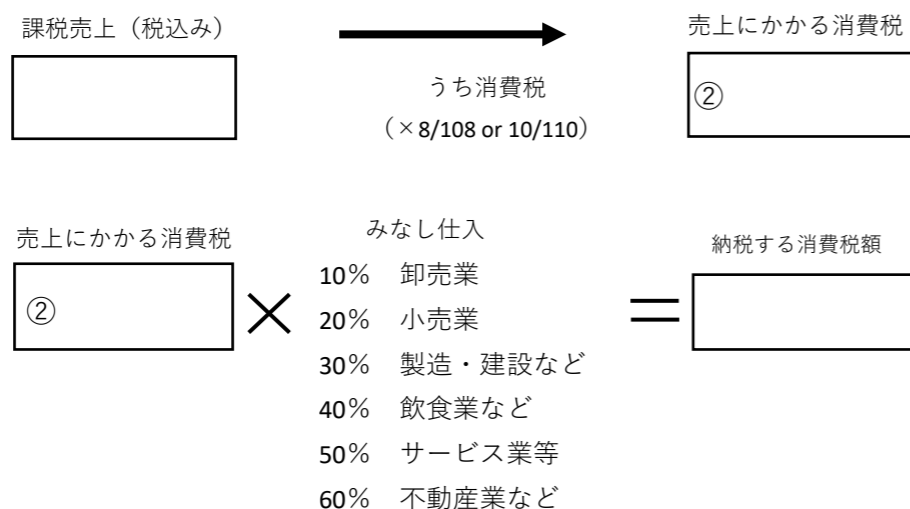
R5年10月～R8年9月（インボイスが開始されてから最初の3年間）
を試算してみよう！

A <簡易課税の計算>

計算例（取引をすべて10%と仮定しています）

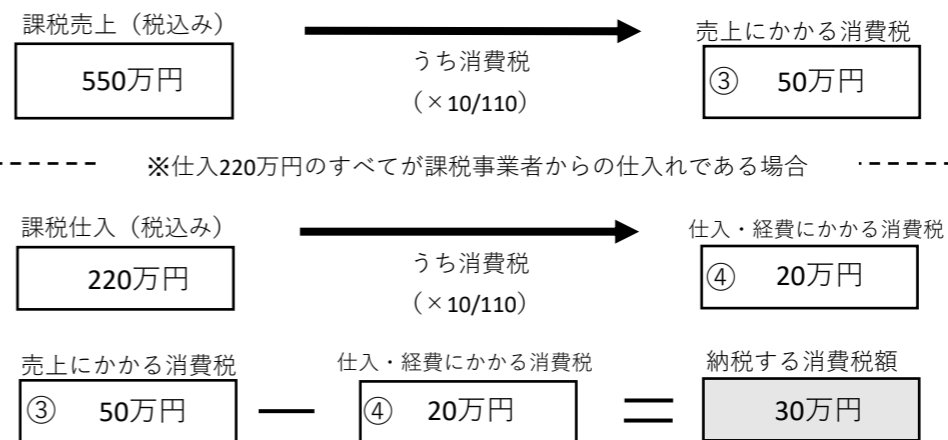


自分の増税額を試算してみよう。



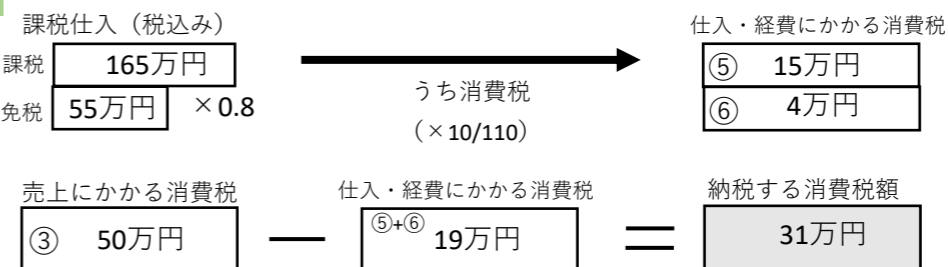
B <本則課税の計算>

計算例（取引をすべて10%と仮定しています）

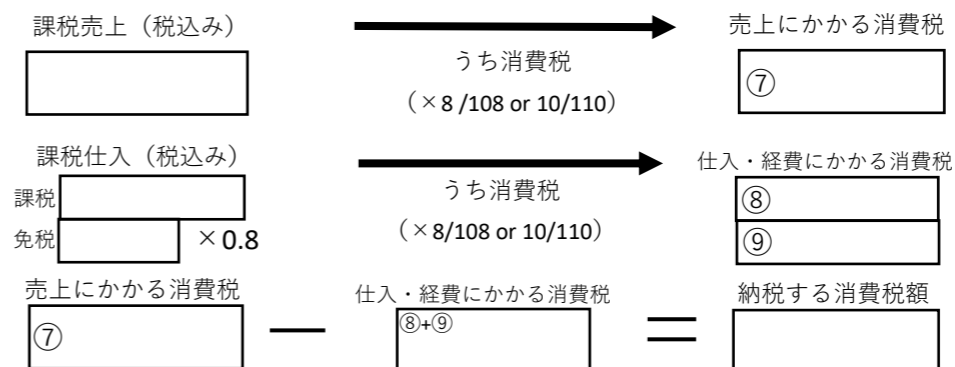


C

※仕入220万円のうち、免税事業者からの仕入れが55万円ある場合



自分の増税額を試算してみよう。



* 簡易課税（A）と本則課税（B）で消費税負担額の試算ができます。どちらを選択するか検討する際に活用してください。

* 課税業者で免税業者と取引がある場合、消費税負担が増えることになります。（C）を使えば、どれくらい負担が増えるか試算できます。

※注：（C）は、仕入税額控除の経過措置（インボイス制度実施後3年間は免税事業者からの課税仕入れにつき、インボイスがなくても80%の控除を可能とする）を基にしています。